

番号	水害時避難場所	住所	電話番号	使用できる階	
				洪水・高潮	雨水出水
34	第三寺島小学校	東向島6-8-1	3614-0201	—	2階以上
35	第二寺島小学校	東向島4-30-2	3614-0105	—	2階以上
36	梅若小学校	墨田2-25-1	3614-6913	—	2階以上
37	隅田小学校	墨田4-6-5	3614-0203	—	2階以上
38	桜堤中学校	堤通2-19-1	3616-5630	全階	全階
39	墨田区総合運動場	堤通2-11-1	3611-9070	2階以上	2階以上

※「—」としている施設は、上記の条件を満たしていないため、「洪水・高潮」における水害時避難場所としては開設しない。

※「雨水出水」における水害時避難場所は、「隅田川及び新河岸川浸水予想区域図（令和3年3月公表）」及び「江東内部河川浸水予想区域図（令和2年3月公表）」において、想定浸水深が3m未満の施設を対象としている。

※「使用できる階」は各想定において、浸水しないと想定している階を示している。

VIII-14：警戒レベルと取るべき行動（本冊 P413）

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				浸水の情報(河川)		土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~						
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	<b>4 相当</b>	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	<b>3 相当</b>	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	<b>2 相当</b>	氾濫注意情報	——
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	<b>1 相当</b>	——	——

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

〈内閣府「防災情報のページ」抜粋〉

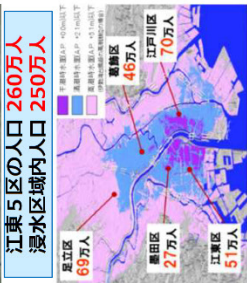
Ⅷ-15：江東5区大規模水害広域避難計画（概要）（本冊 P418）

江東5区大規模水害広域避難計画 概要

大規模水害による犠牲者ゼロのために『自主的に早めの広域避難』

I. 江東5区では広域避難が必要です

- 地球温暖化の影響で、巨大な台風や今までにないような激しい豪雨等により、高潮や洪水による大規模水害が世界各地で発生しています。
- 多くの地域が満潮位以下のゼロメートル地帯である江東5区（墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）で大規模水害が発生すれば、江東5区のほとんどが浸水します。床上浸水となる浸水想定区域内の居住人口は250万人（居住人口の9割以上）にも及びます。
- 浸水が継続する時間も長期（2週間以上）にも及び地域があります。二次的な人的被害リスクが高まります。



II. 対象とする水害・想定している事態は？

- ① 対象とする水害
  - この計画が対象としている水害は、今までに経験したことがないような巨大台風による高潮氾濫や、長期間の豪雨による荒川及び江戸川の大規模洪水氾濫です。
- ② 想定している事態
  - 浸水の深さが最大で約10メートルも浸水する地域や、氾濫流により家屋の倒壊・流出のおそれがある区域（堤防沿い等）もあります。
  - 江東5区は河川に囲まれており、広域避難をするためには橋を渡る必要があります。人が集まる駅や橋梁のようなところでは大混雑が生じ、群集雪崩や倒壊し等の大事故が発生するおそれがあります。
  - 巨大台風の接近に伴う風雨により、電車のダイヤが乱れたり運行が停止し、避難することが困難になるおそれがあります。
  - 浸水想定区域の居住人口が膨大であるため、多くの人が浸水区域内にとどまると救助が難航し、すべての人を救助しきれません。

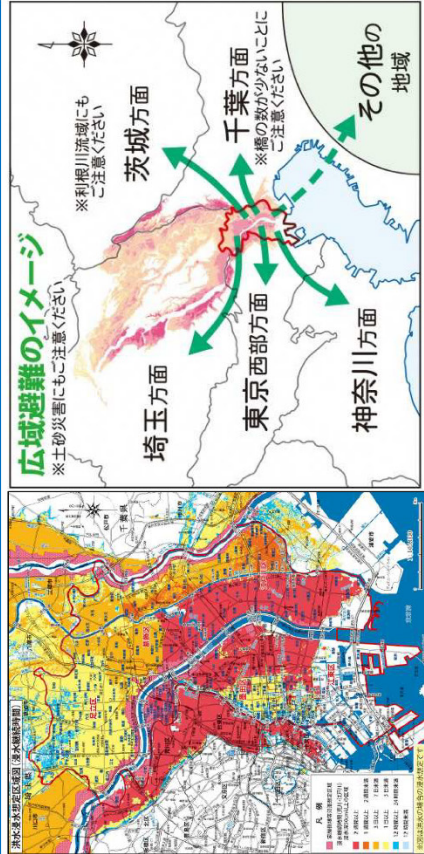


III. 広域避難の対象と避難勧告等について

- ③ 広域避難が必要とされる地域及び対象者
  - 広域避難が必要な地域は、高潮及び荒川と江戸川の洪水による想定最大規模の浸水想定区域に含まれている地域です。
  - 堤防が決壊する前に、実際に浸水する範囲を絞り込むことができませぬ。そのため、浸水想定区域内のすべての住民を広域避難の対象者とします。
- ④ 広域避難勧告・城内垂直避難指示（緊急）等の発令
  - 自主的に広域避難情報の発信と広域避難勧告・城内垂直避難指示（緊急）の発令基準は裏面のとおりです。

IV. 避難の方法は - 自主的な早めの広域避難を -

- ⑤-1 避難行動及び避難場所（要配慮者※以外）
  - ※要配慮者：高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者
  - 自ら情報を収集、判断し、早めに広域避難しましょう。
  - まずは各自が確保した避難施設（親戚・知人宅や宿泊施設等）に避難しましょう。
  - 現段階では、公的広域避難場所は確保できていません。
  - 城内垂直避難指示（緊急）が発令された場合は、広域避難を中止して、想定される浸水深よりも高い自宅の居室や施設にとどまってください。
- ⑤-2 避難手段（要配慮者※以外）
  - 自主的広域避難（24時間前までを想定）では、徒歩、電車のほかに自動車での避難も可能です。
  - 広域避難勧告の発令後は、電車又は徒歩で移動するようにしてください。
  - 多くの人が一斉に自動車移動すると渋滞が発生し、避難が間に合わない可能性がります。また、自ら移動が困難な人の自動車による避難を妨げてしまう可能性があります。
- ⑥-1 避難行動及び避難場所（要配慮者）
  - 要配慮者以外と同様に、可能な限り早い段階で自主的広域避難をしましょう。
  - ただし、入所患者及び福祉施設の入所者で、短距離、長距離問わず移動そのものに負担がかかる場合は、想定される浸水深よりも上階の屋内で安全を確保してください。
  - 在宅の自ら移動が困難な人であっても、救助活動を効率的に行うため、可能な限り近距離の避難施設へ避難してください。ただし、外出も困難な場合は、福祉施設と同様に安全を確保したうえで備蓄等をおこなってください。
- ⑥-2 避難手段（要配慮者）
  - 電車又は徒歩による移動が困難な人及びその付添者については、自動車での避難も可能です。



※荒川と江戸川の浸水想定区域を重ね合わせた場合  
 ※利根川流域にもご注意ください  
 ※橋の数が少ないことにご注意ください

江東5区大規模水害広域避難計画 概要

広域避難勧告・域内垂直避難指示（緊急）等の発令基準

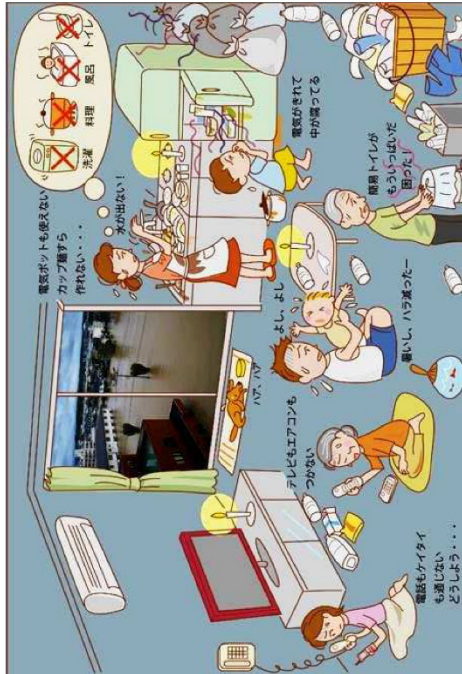
発令段階	想定時間	発令基準
I. 共同検討開始 (江東5区による検討)	氾濫発生 の72時間 前を想定	以下のいずれかの条件に合致した場合に検討を開始します。 ① 72時間先の台風予報において、中心気圧930hPa以下の台風予報円が東京地方を含むと予測された場合。 又は、 ② 洪水に関連する情報として、荒川流域での3日間の平均雨量を積み重ねた値（以下、荒川流域3日間積算流域平均雨量）が概ね400mmを超える可能性があると予測され、江東5区に情報提供があった場合。 又は、 ③ 江東5区の区長いずれかからの発議があった場合。
II. 自主的広域避難情報（広域避難の呼びかけ）	氾濫発生 の72～24 時間前を 想定	以下のいずれかの条件に合致した場合に情報を発信します。 ① 48時間先の台風予報において、中心気圧930hPa以下の台風の予報円が東京地方を含み、かつ、東京都（東京地方）に高潮警報発表の可能性が高いと予測された場合。 又は、 ② 洪水に関連する情報として、荒川流域3日間積算流域平均雨量が概ね500mmを超える可能性があると予測され、江東5区に情報提供があった場合。 又は、 ③ 江東5区の区長の判断。
III. 広域避難勧告	氾濫発生 の24～9 時間前を 想定	以下のいずれかの条件に合致した場合に発令します。 ① 930hPa以下の台風が概ね24時間以内に東京湾から神奈川県付近を含む地域へ到達すると予測され、気象庁が高潮特別警報を発表する可能性に関する記者会見を行う場合、又は、江東5区に高潮注意報が発表されており、当該注意報において堤防の天端高を越える最高潮位が予測されている場合。 又は、 ② 洪水に関連する情報として、荒川流域3日間積算流域平均雨量が概ね600mmを超える可能性があると予測され、江東5区に情報提供があった場合。 又は、 ③ 江東5区の区長の判断。
IV. 域内垂直避難指示（緊急）	氾濫発生 の9～0 時間前を 想定	以下のいずれかの条件に合致した場合に発令します。 ① IIIの状態の高潮警報あるいは高潮特別警報が発表された場合。 又は、 ② 荒川が氾濫危険水位に達し、更なる水位上昇が見込まれる旨が通知された場合。 又は、 ③ 江東5区の区長の判断。

① 高潮氾濫を見据えた条件  
② 洪水氾濫を見据えた条件  
③ ①、②に促われない必要ない場合に発令することを想定した条件  
※ 本発令基準は現時点で考えられる基準として時間軸で整理したものであり、今後実際の運用等を重ねて改善していく場合があります。

V. 日頃から備えましょう

- 広域避難先（親戚・知人宅や宿泊施設等）を確保しましょう。
- 広域避難に備えて携行品について準備しましょう。
- 広域避難が困難な人や施設管理者は、浸水区域内にとどまることに備えた備蓄をしましょう。
- 自ら移動が困難な人やその付添者は、利用可能な避難施設までの移動手段や、広域避難する際の自動車の確保等について検討しましょう。

広域避難せずに自宅にとどまるとイメージ図のようなことが起こりませんか？  
台風が発生する暑い時期に2週間以上も耐えられるでしょうか？



自宅にとどまった場合の生活環境イメージ  
(出典：大規模水害対策に関する専門調査会報告 参考資料1-2 平成22年4月)

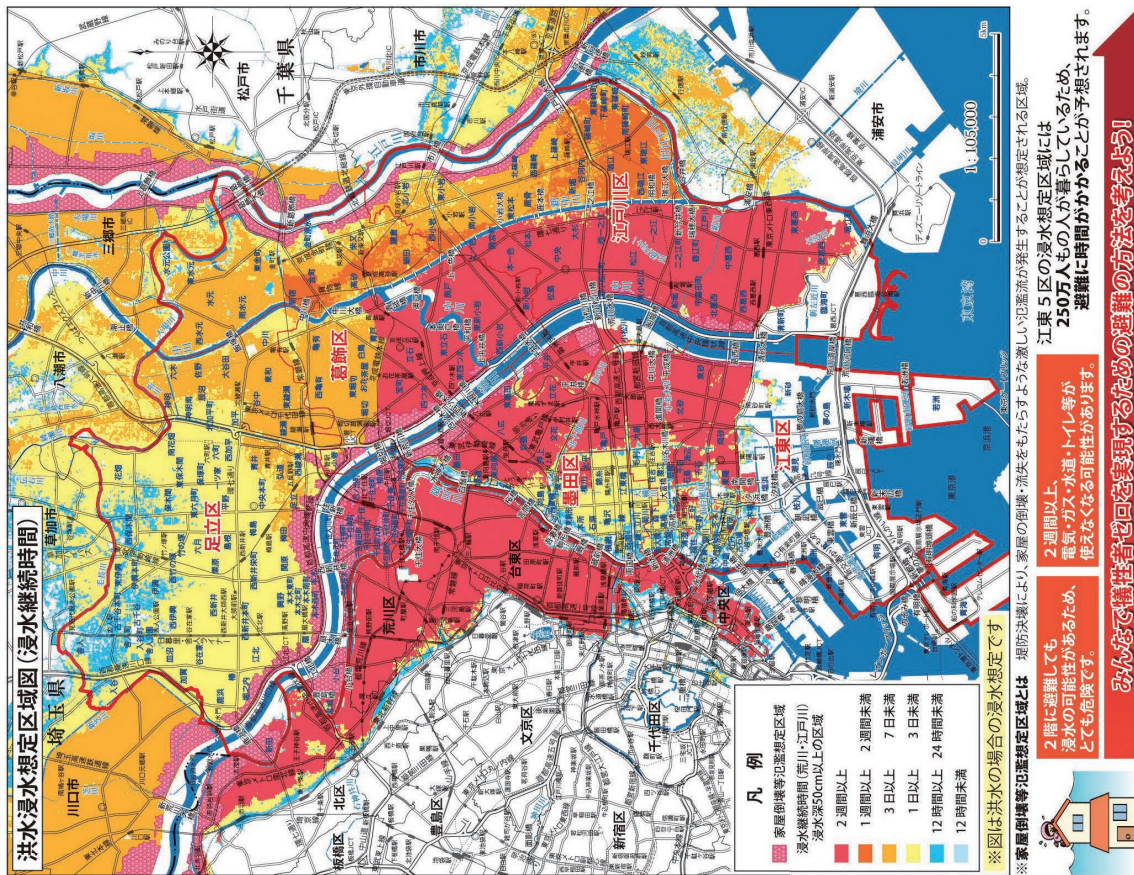
VI. 行政としての今後の課題

- 関係機関の役割・連携体制
  - 広域避難の課題を解決し、実効性を確保するために、国・都が設置した「首都圏における大規模水害広域避難検討会」と連携し、江東5区として取り組みを継続します。
- 治安対策
  - 避難により留守となった住居・施設への侵入窃盗防止対策のため、鍵かけなどの啓発とパトロールの徹底等について検討します。
- 意識の共有・啓発
  - 浸水想定区域の住民及び社会全体が、大規模水害への理解を深め、自主的な避難行動を行う社会の実現を目指します。

VIII-16：江東5区大規模水害ハザードマップ（概要）（本冊 P418）

**自主的広域避難情報が発表されたら、すぐに江東5区外の安全な場所へ避難を開始してください。**

※自主的広域避難情報とは  
江東5区の長が、江東5区の住民に対して、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけること（江東5区：葛飾区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）



※図は洪水の場合の浸水想定です  
※家屋倒壊等浸水想定区域とは、建物の倒壊・流失をもたらすような激しい急激な洪水が発生することが想定される区域。  
江東5区の浸水想定区域には、250万人もの人が暮らしているため、避難に時間がかかると予想されます。  
2週間以上、電灯・ガス・水道・トイレ等が使用できなくなる可能性があります。  
2週間以上、電灯・ガス・水道・トイレ等が使用できなくなる可能性があります。  
避難に時間がかかると予想されます。  
みんなが犠牲者ゼロを実現するための避難の方法を考えよう！

**江東5区大規模水害ハザードマップ**

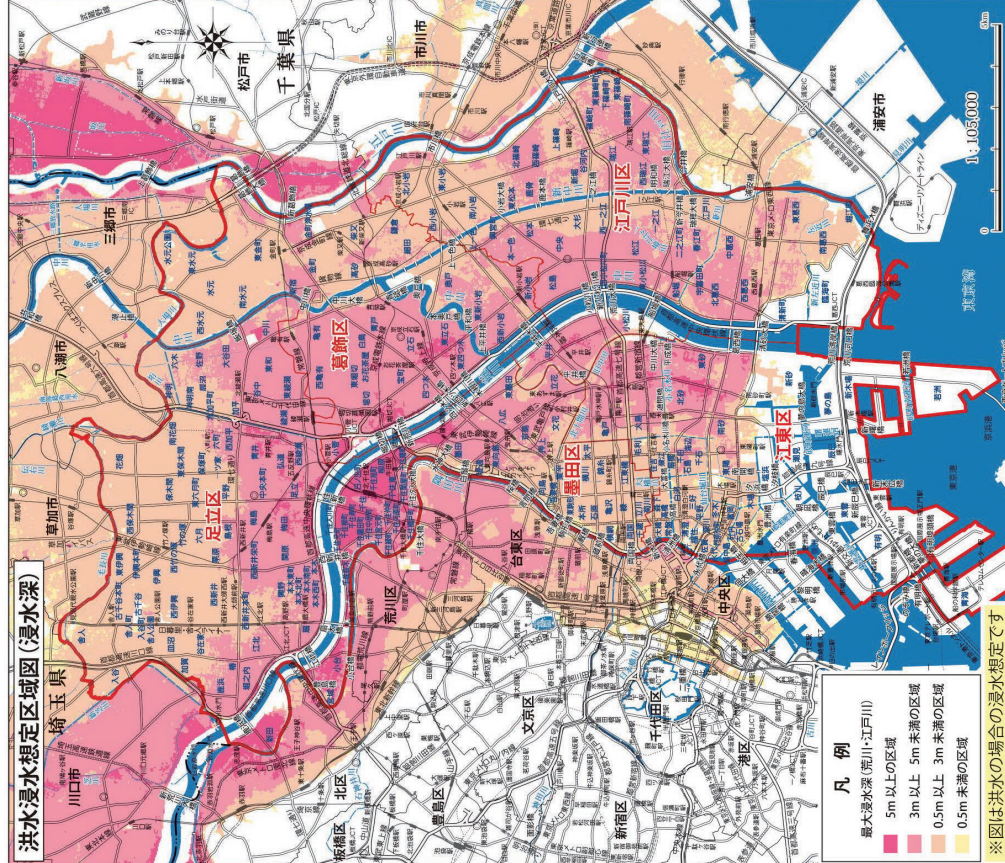
**大規模水害から命を守るう!**

荒川と江戸川が氾濫するおそれがある場合の避難行動について区民の皆さんに考えていただくために、江東5区が共同で水害ハザードマップを作成しました。

このハザードマップは、荒川と江戸川の浸水想定区域を重なる場所(いすれも想定最大規模)として作成したものです。

- 荒川：荒川流域の3日間総雨量632mm
- 江戸川：利根川流域の3日間総雨量491mm

発行：江東5区広域避難推進協議会  
お問い合わせ先：江東区 総務部 危機管理室 防災課 03-3647-9584



**大規模水害が起きる可能性がある場合には、江東5区のほぼ全域に広域避難勧告が発令されます。各区からの情報に注意して、適切な避難行動を取ってください。**

**江東5区で発令する避難情報について**

- 7:2時間前 (31日前)** 共同検討開始  
江東5区が共同で、大規模水害への対応について検討します。
- 4:8時間前 (21日前)** 自主的広域避難情報を発表します  
広域避難勧告を発令する前に、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけます。
- 2:4時間前 (11日前)** 広域避難勧告を発令します  
区長が、江東5区外の地域への避難を勧告します。
- 9時間前 (1日前)** 域内垂直避難指示(緊急)を発令します  
広域避難勧告をする時間的な猶予がないと判断した際に、垂直避難行動をとるよう区長が指示を出します。  
大規模水害発生後、浸水しなかった区域の住民は、速やかに帰宅してください。

江東5区では、非浸水地域の自治体と避難の受け入れについての協議を進めています。具体的な場所はまた特定できていません。避難場所を開設できたとしても限りがあり、また避難してフライングを確保することも難しいです。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル、民宿、勤務先等の避難先に避難しましょう。

**江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いします。**

**避難の方法**

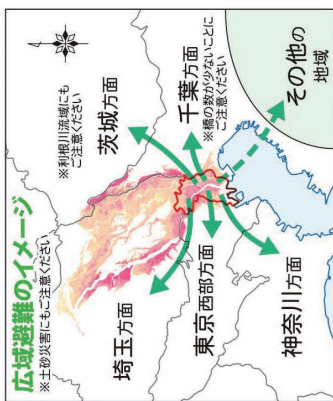
**徒歩・自転車での避難**  
雨風が強まる前に利用する交通機関の最新の情報を取得し、早めに避難を開始してください。

**徒歩・自転車での避難**  
避難の開始が遅れると、橋梁部で混雑する可能性があります。交通誘導に従って、落ち着いて避難をしましょう。

**江東5区外への広域避難について**  
浸水しない地域の親戚、友人、知人宅などに避難させてもらえないか検討する。  
もし避難できる親戚、友人、知人宅などのあてがあれば、事前にお断りをお願いしておく。  
民間の宿泊施設へ避難する。  
江東5区は関係機関と協働して、公的な避難先も決めていきます。

**自宅に留まらざるを得ない時の屋内安全確保のポイント**

- 2週間以上の浸水に備えて、水・食料・簡易トイレ・車上コンロ・充電器等を、あらかじめ備蓄しておく。
- 浸水を防ぐため、浸水品や電化製品等は、浸水しない階まで上げる。
- 濡れを防ぐため、浸水する際の電化製品のコンセントは抜いて、ブレーカーも落す。



**自動車での避難**

1日以上前に避難する(自主避難)場合：誰でも車で避難可能  
1日前に広域避難勧告の発令があった場合：誰でも車で避難可能  
避難行動要請発令後に自動車での避難をするのは、ご遠慮ください。  
自動車での避難は、大渋滞が発生し、避難が間に合わなくなってしまうため、お身体が不自由な要配慮者とその付添者以外の方は、広域避難勧告発令後に自動車での避難をすることは、ご遠慮ください。

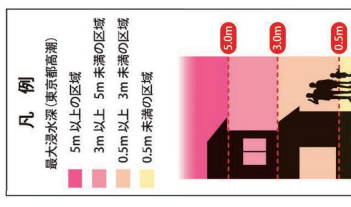
**歩行が困難で公共交通機関を利用できない方 江東5区外へ避難ができない方**

- 車での早めの避難を検討する。
  - 近隣の小・中学校への避難を考慮しておく。
  - 避難時に常備薬や食料も持参する。
- ※近隣の小・中学校に避難した場合も、街が浸水するとトイレが利用できなくなります。

**高潮による氾濫について**

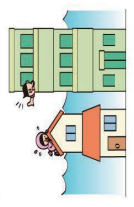
江東5区大規模水害ハザードマップは、荒川と江戸川が氾濫した場合の想定を示したものです。しかし、中心気圧930hPa以下の猛烈な台風が東京に接近した場合には、高潮が発生して、江東5区はほぼ全域が浸水するおそれがあります。高潮が発生するおそれがある時は、江東5区が早い段階で広域避難勧告を発令し、避難を呼びかけますので、区からの情報に注意してください。

**高潮浸水想定区域図 (浸水深)**



※図は東京都内の想定を示したものです

**高潮浸水想定区域図 (浸水継続時間)**



※図は東京都内の想定を示したものです

高潮浸水想定区域図(浸水深、浸水継続時間)  
我が国では大規模な台風(窓戸台風級:90hPa)を想定。高潮は、暴風による高潮を発生させる。各台風の経路を想定。高潮と同時に河川での洪水を考慮。高潮の発生を想定し、堤防等の決壊を想定。※下図は、東京都建設局・建設局の高潮浸水想定区域図を基に作成したものです。詳細図は、東京都建設局・建設局のホームページからご覧いただけます。

